

Shape ファイルを RVC にインポート後、テーブルデータを整理する手順です。

Shape ファイルは基本的に要素(ポイント・ライン・ポリゴン)と 1 対 1 のテーブルレコードを持ちます。

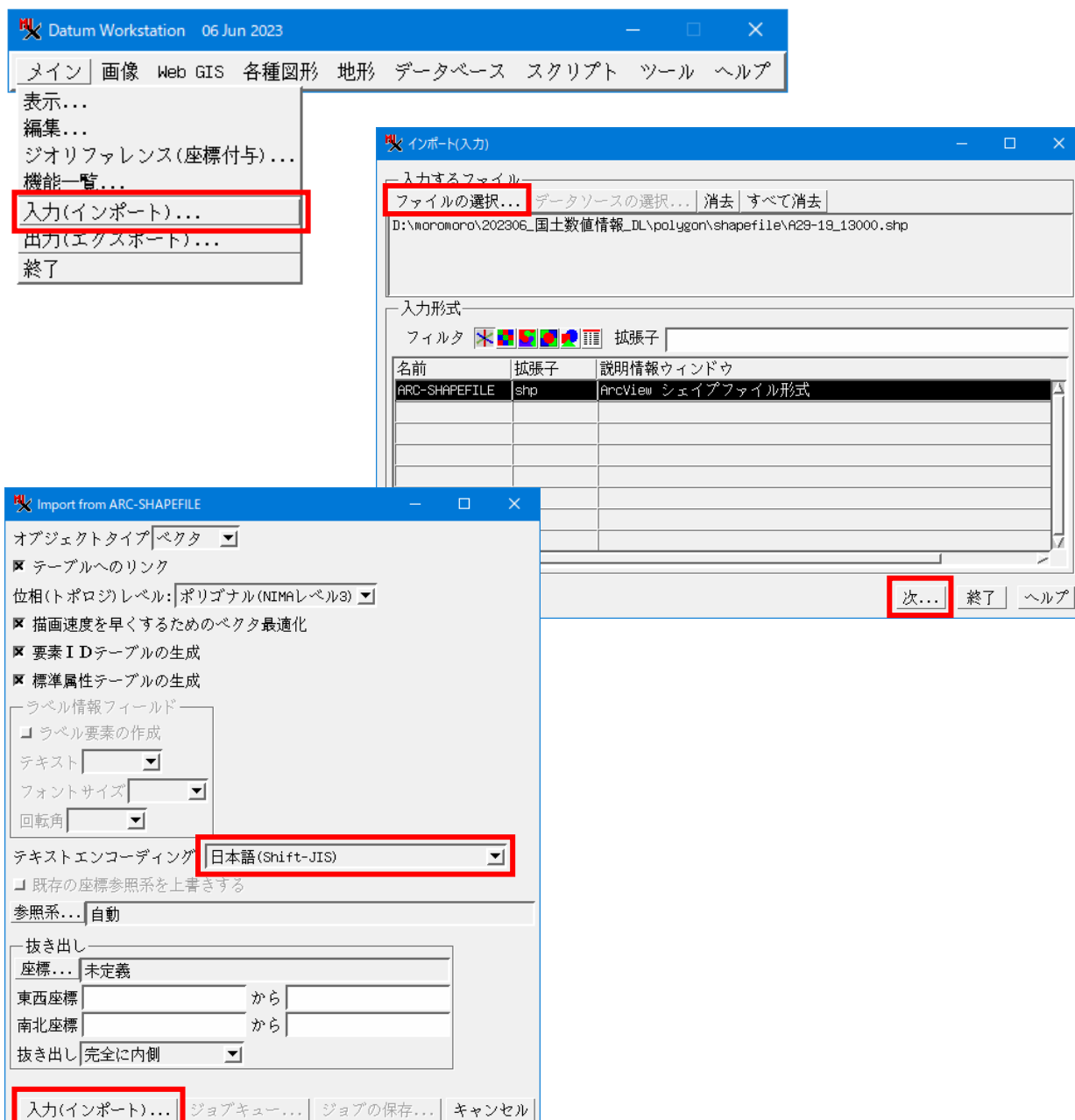
要素の数だけレコードがある状態を整理して同じ内容のレコードをまとめます。

(サンプルデータは「国土数値情報 用途地域データ」を使用しています)

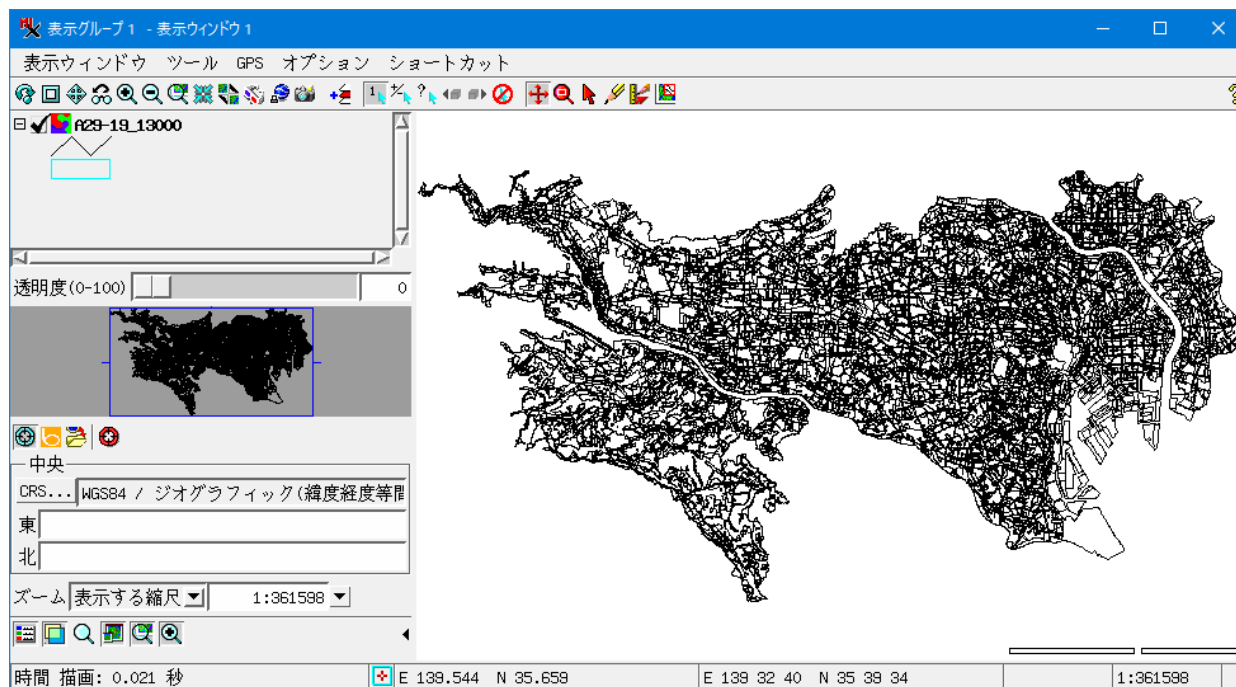
## 1. Shape ファイルのインポート

メイン>入力(インポート)>入力ファイルの選択

> shp ファイルを選択 > [次...] > [入力(インポート)]

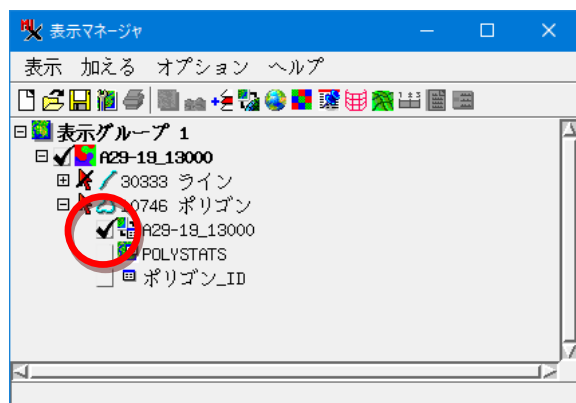


Shape ファイルをインポートした RVC を表示したところです。



## 2. テーブルの修正

既存のテーブルを参照してみます。

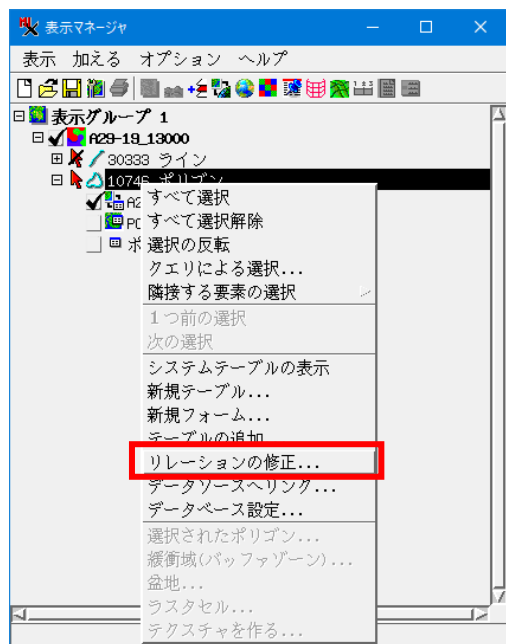


A29_001	A29_002	A29_003	A29_005	A29_006	A29_007	A29_008
13000	東京都		8 近隣商業地域	80	300	
13000	東京都		1 第一種低層住居専用地域	30	50	
13000	東京都		1 第一種低層住居専用地域	30	60	
13000	東京都		1 第一種低層住居専用地域	30	60	
13000	東京都		1 第一種低層住居専用地域	40	80	
13000	東京都		1 第一種低層住居専用地域	40	80	
13000	東京都		4 第二種中高層住居専用地域	50	100	
13000	東京都		3 第一種中高層住居専用地域	30	100	
13000	東京都		3 第一種中高層住居専用地域	60	200	
13000	東京都		3 第一種中高層住居専用地域	30	100	
13000	東京都		3 第一種中高層住居専用地域	50	100	
13000	東京都		4 第二種中高層住居専用地域	50	100	
13000	東京都		3 第一種中高層住居専用地域	50	100	
13000	東京都		1 第一種低層住居専用地域	30	50	
13000	東京都		1 第一種低層住居専用地域	30	50	
13000	東京都		3 第一種中高層住居専用地域	30	100	

10717 / 10717 レコードが表示されています。

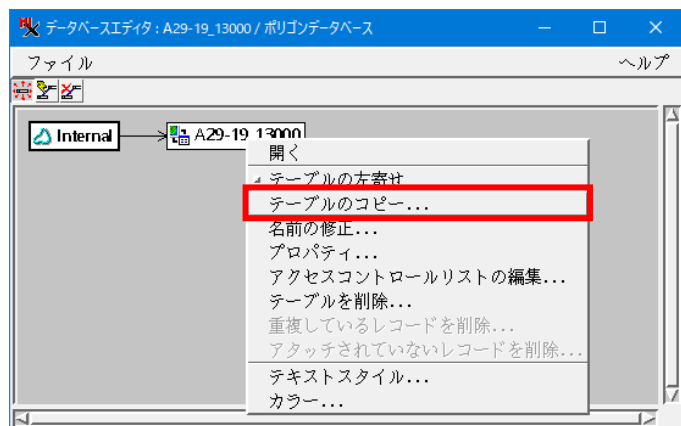
フィールド A29\_005 だけのテーブルを作ってみます。

マネージャのポリゴンを選択した状態で右クリックメニューの[リレーションの修正]を選択

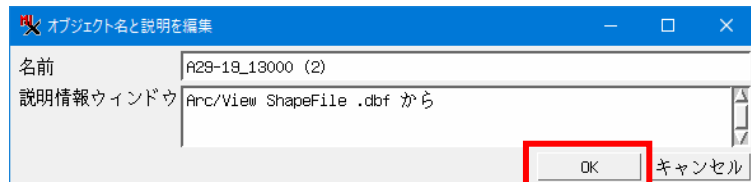


元のテーブルのバックアップをします。

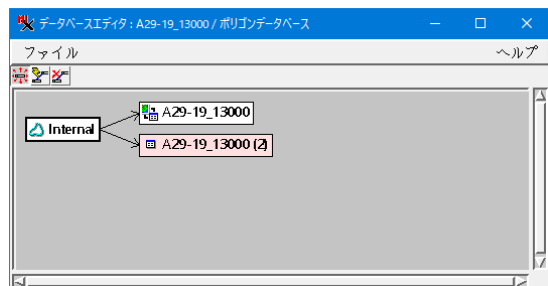
データベースエディタ画面でテーブルを選択し、右クリックメニューより[テーブルのコピー]>OK



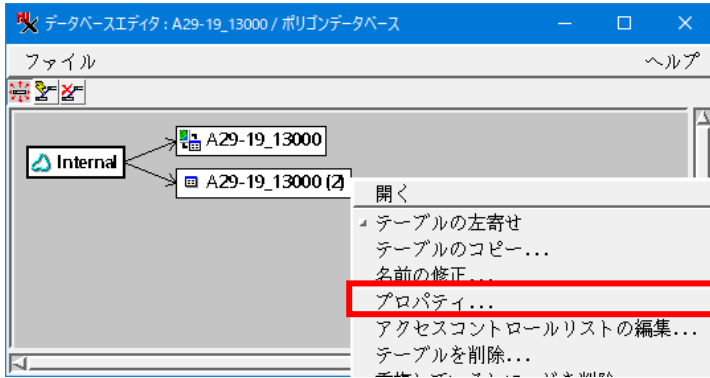
必要があれば名前を変更します。



テーブルがコピーされました。



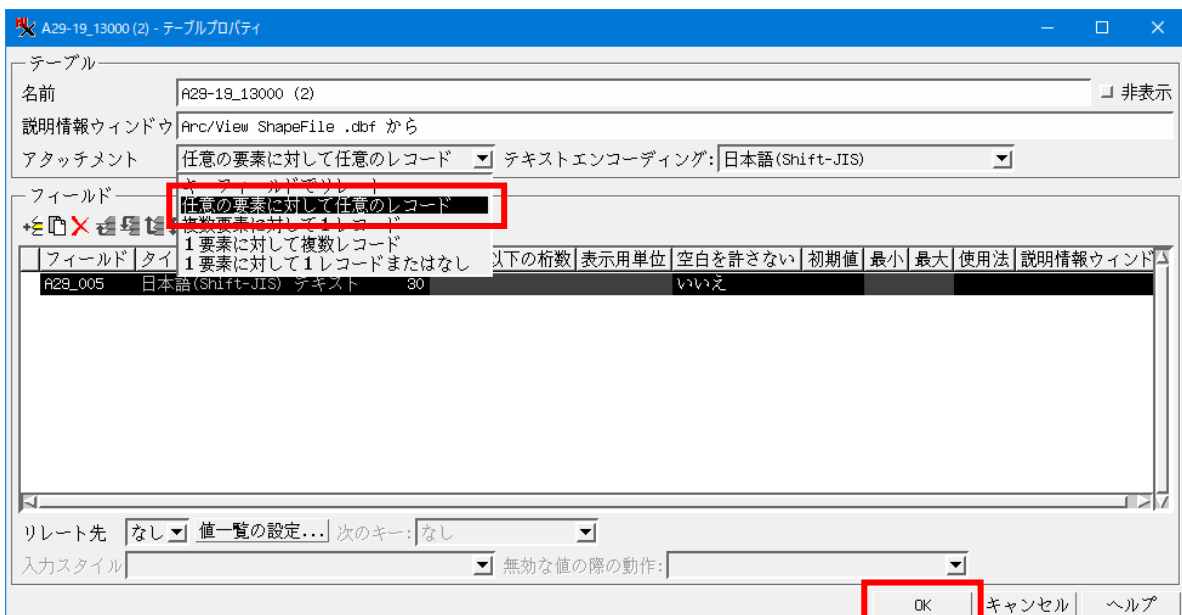
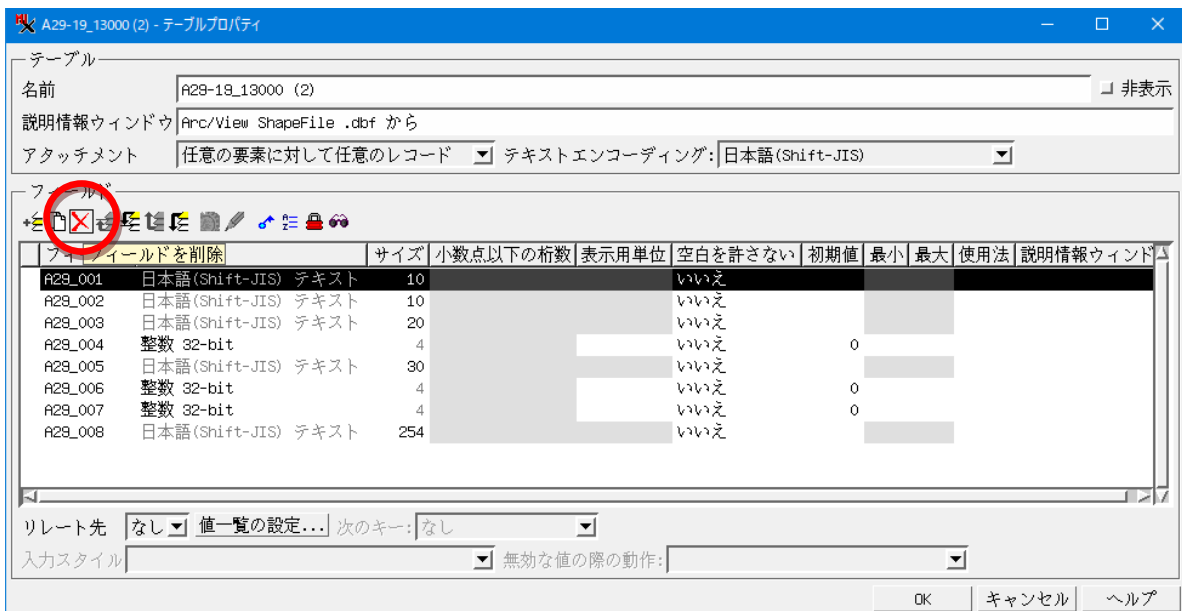
新しいテーブルの「プロパティ」を開きます。



不要なフィールドを削除します。

アタッチメントは「任意の要素に対して任意のレコード」もしくは「1要素に対して複数レコード」にします。

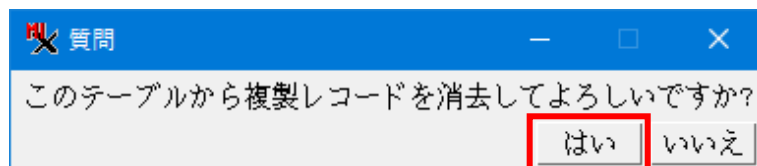
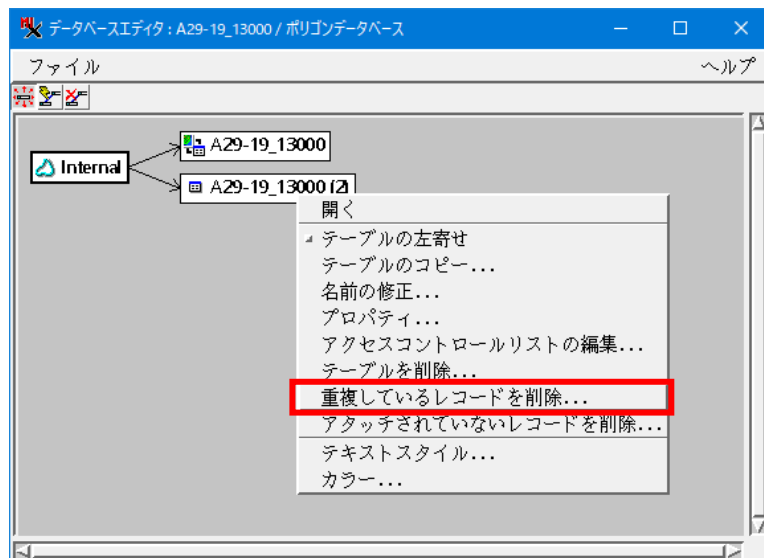
削除するフィールドを選択し、[×]をクリック、A29\_005 だけ残ったら、[OK]



テーブルはこのようになりました。

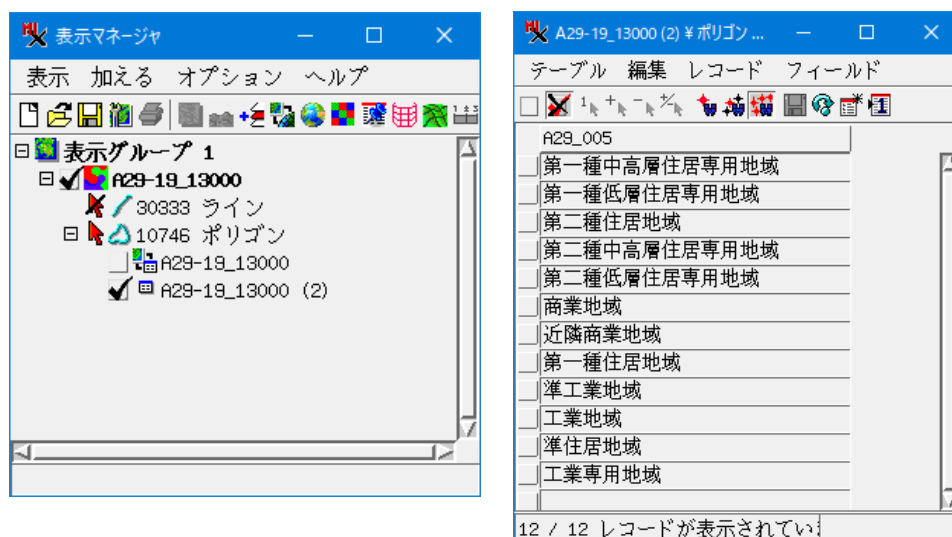


レコードがポリゴンの数だけあるので種類ごとにまとめます。  
テーブルの右クリックメニューから[重複しているレコードを削除]



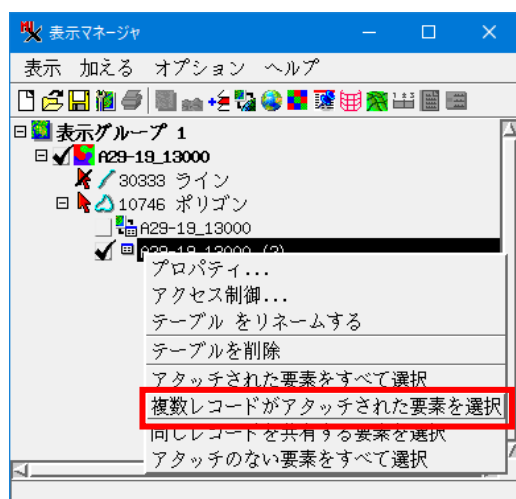
[はい]

同じ属性値のレコードがまとまりました。

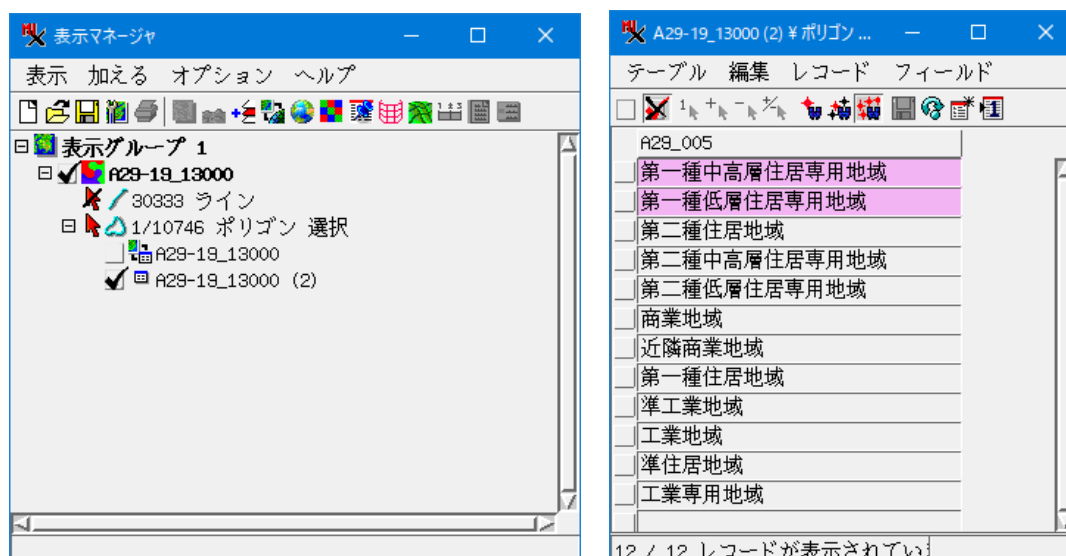


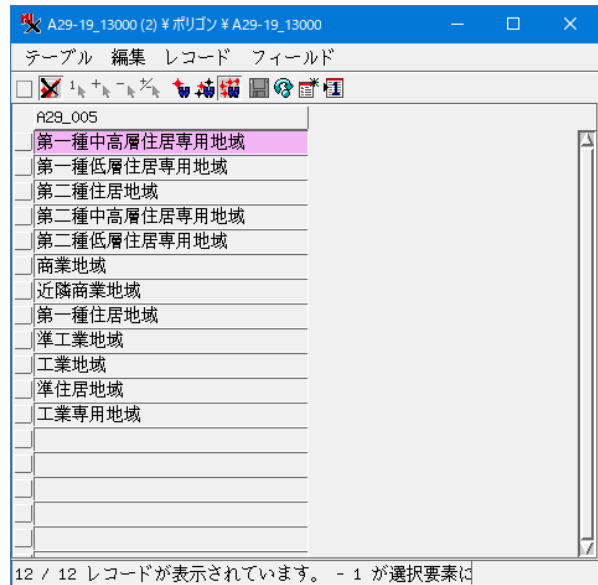
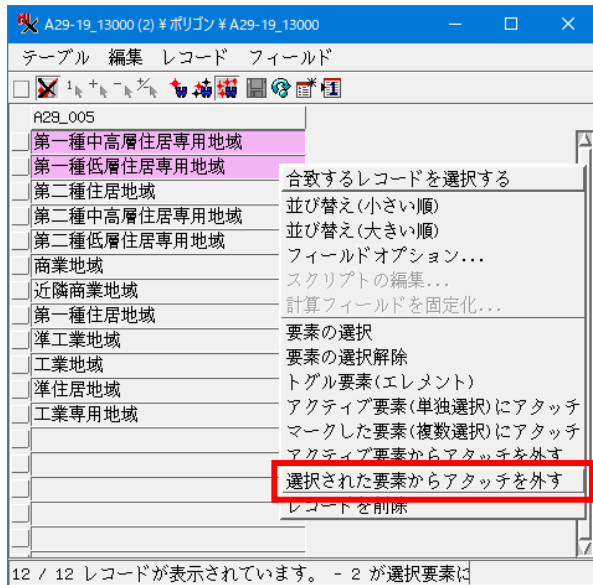
### 3. 属性値によるポリゴンの色分け

このテーブルの複数レコードがアタッチされている要素はないか確認します。

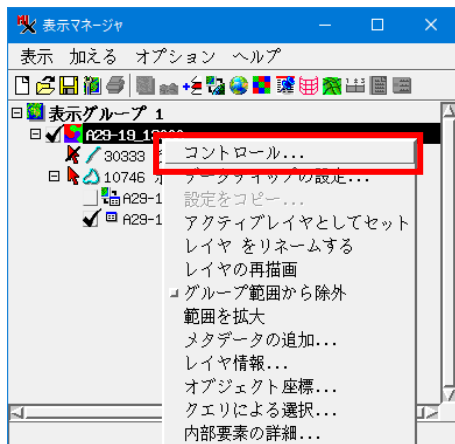


1つ見つかったので、確認して不要なアタッチを外します。

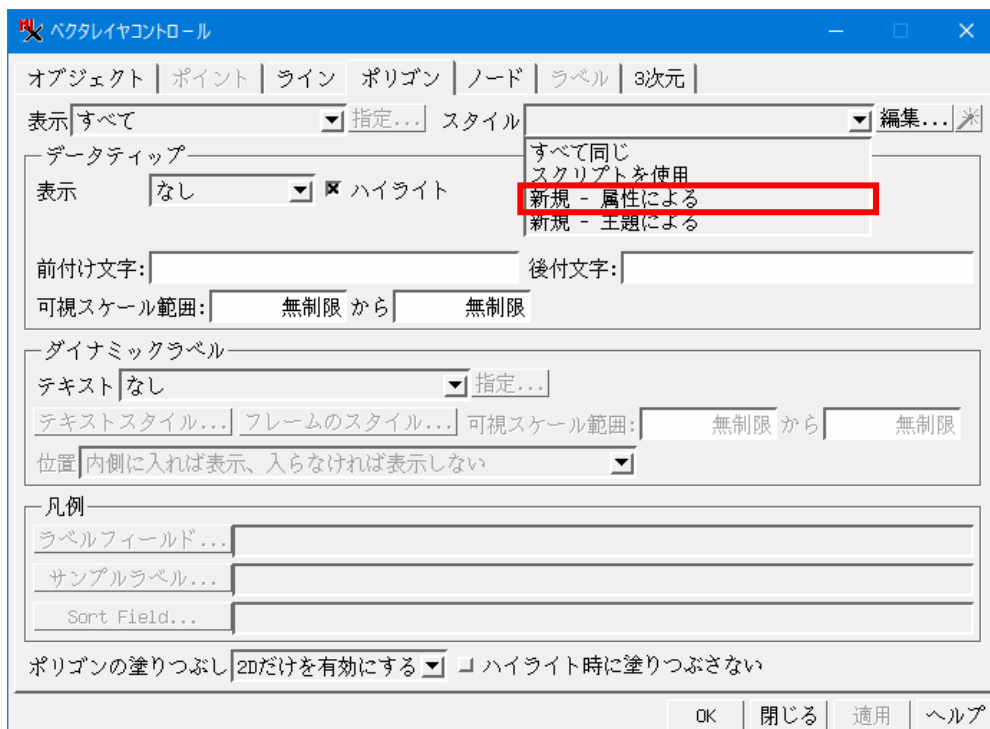




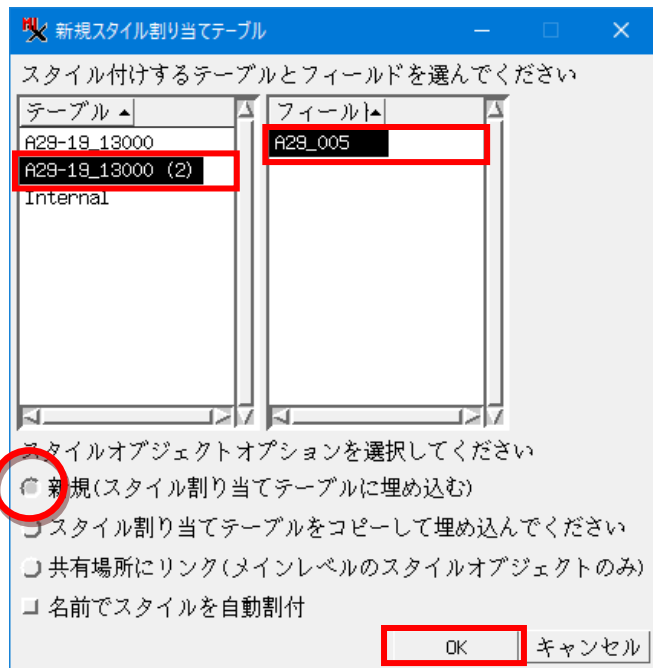
ポリゴンに色を付けてみます。レイヤを選択し[コントロール]



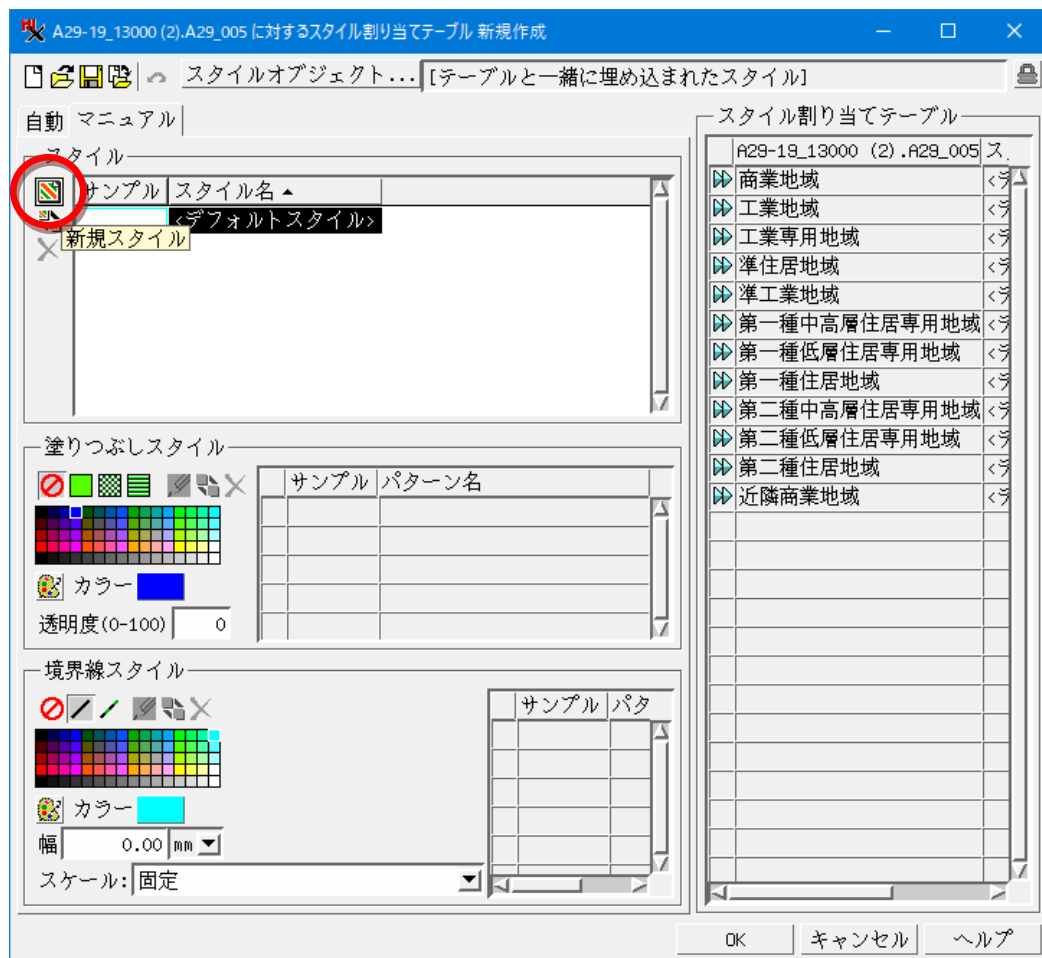
ポリゴンタブで「新規 - 属性による」



## テーブルとフィールドを選択して[OK]

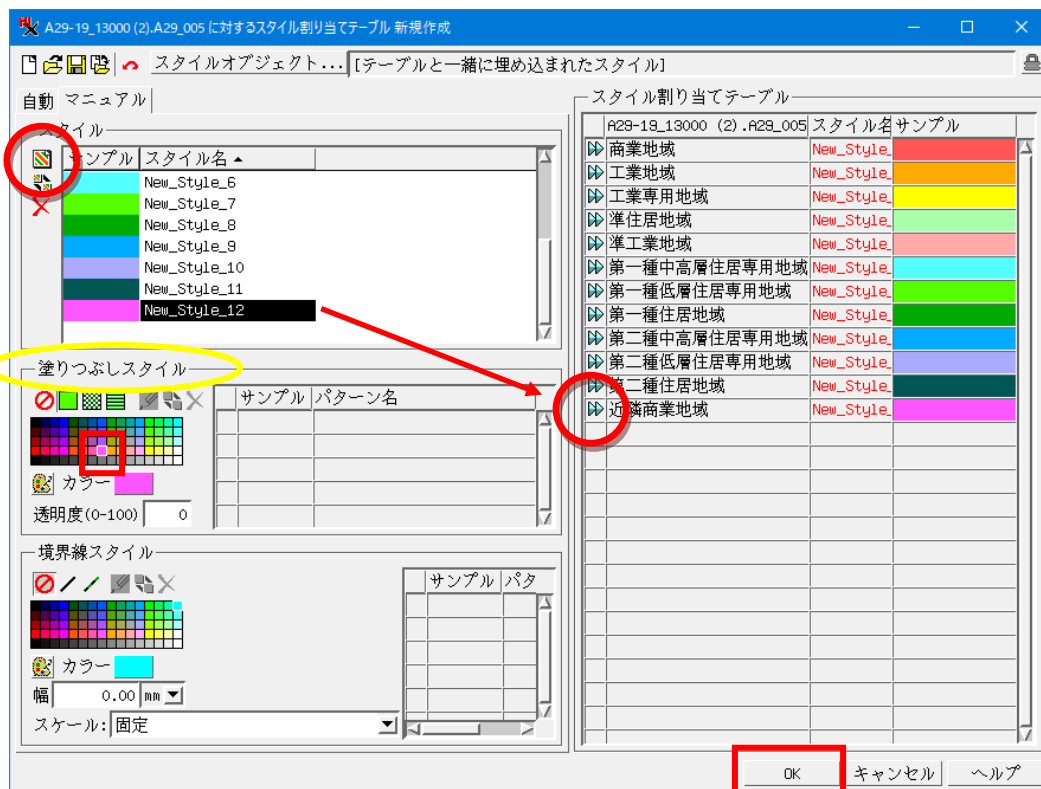
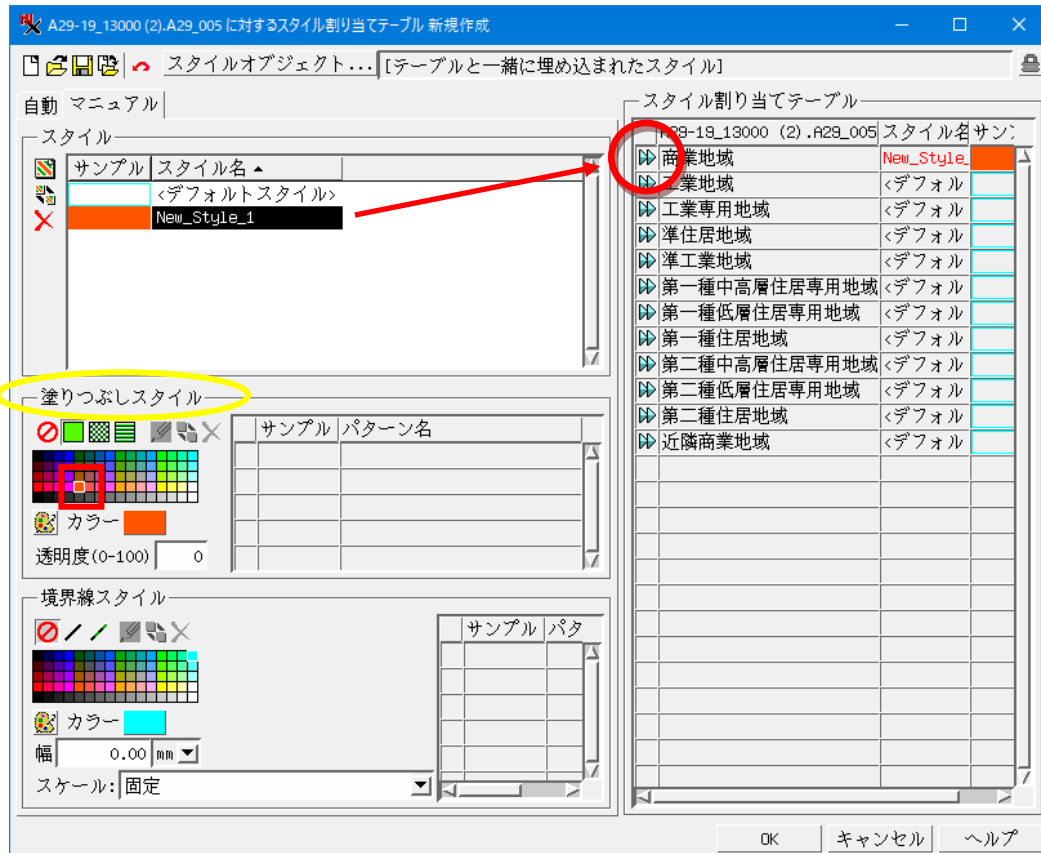


## マニュアルタブで[新規スタイル]をクリック

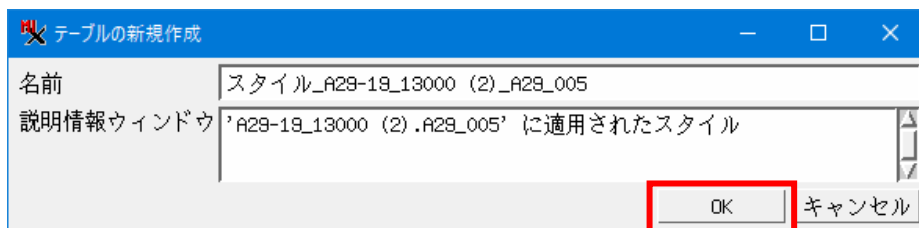




塗りつぶしと境界線のスタイルを選択し、右の「スタイル割り当てテーブル」の割り当てたいレコードの左の△△マークをクリックすると割り当てられます。(例ではポリゴン境界線はオフ)  
この操作を後のレコードにも行います。

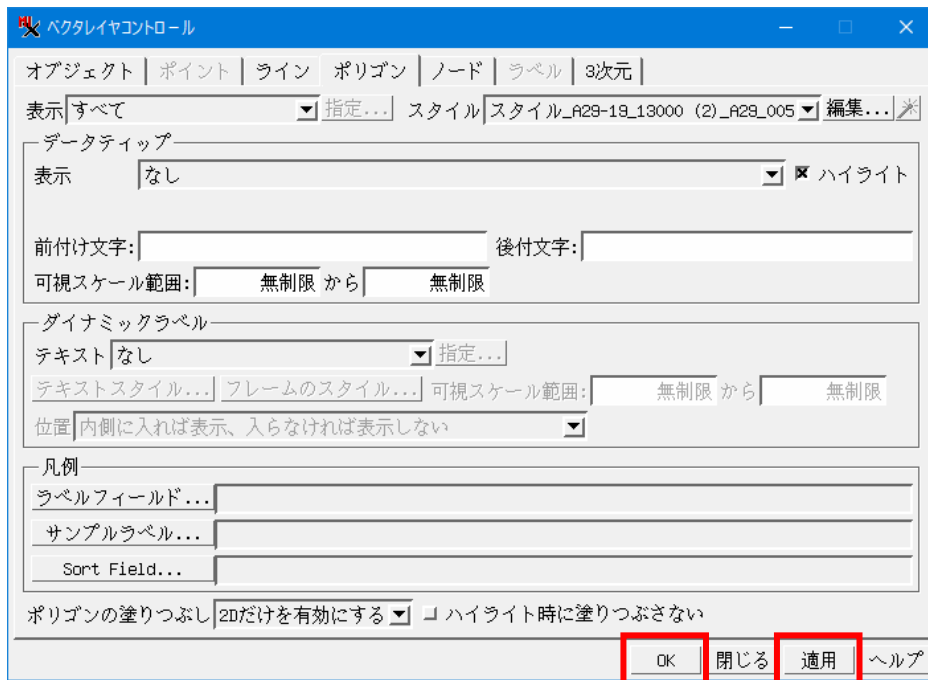


カラーの割り当てが終了したら[OK]

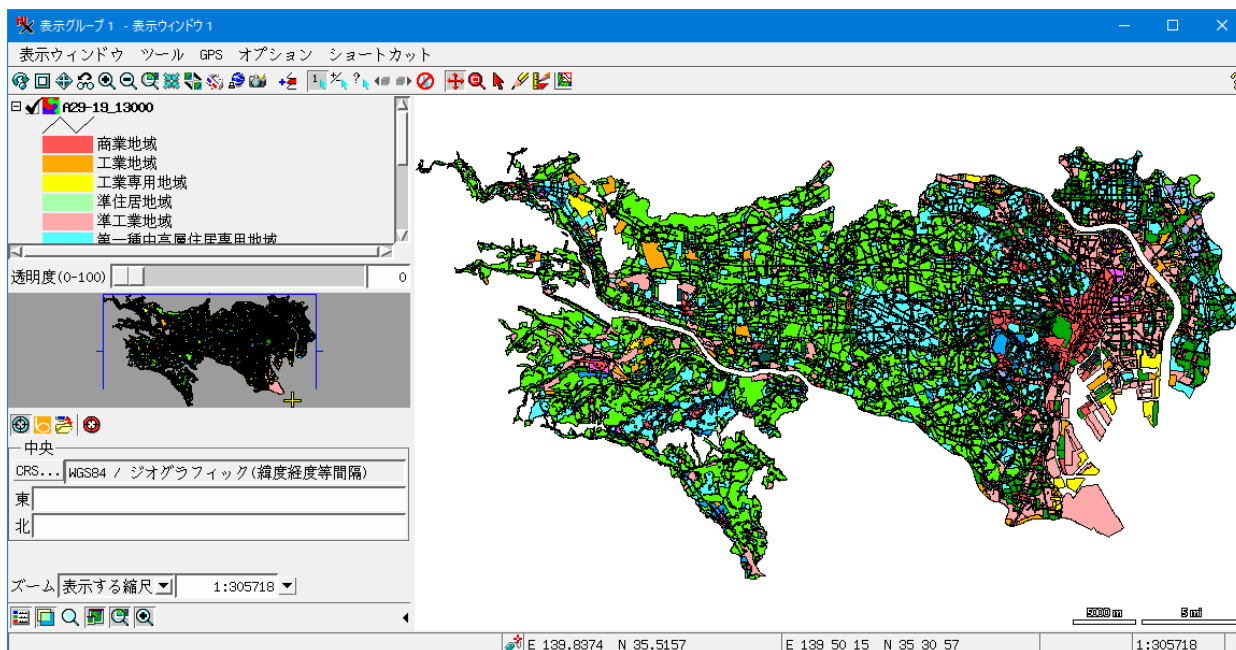


[OK]

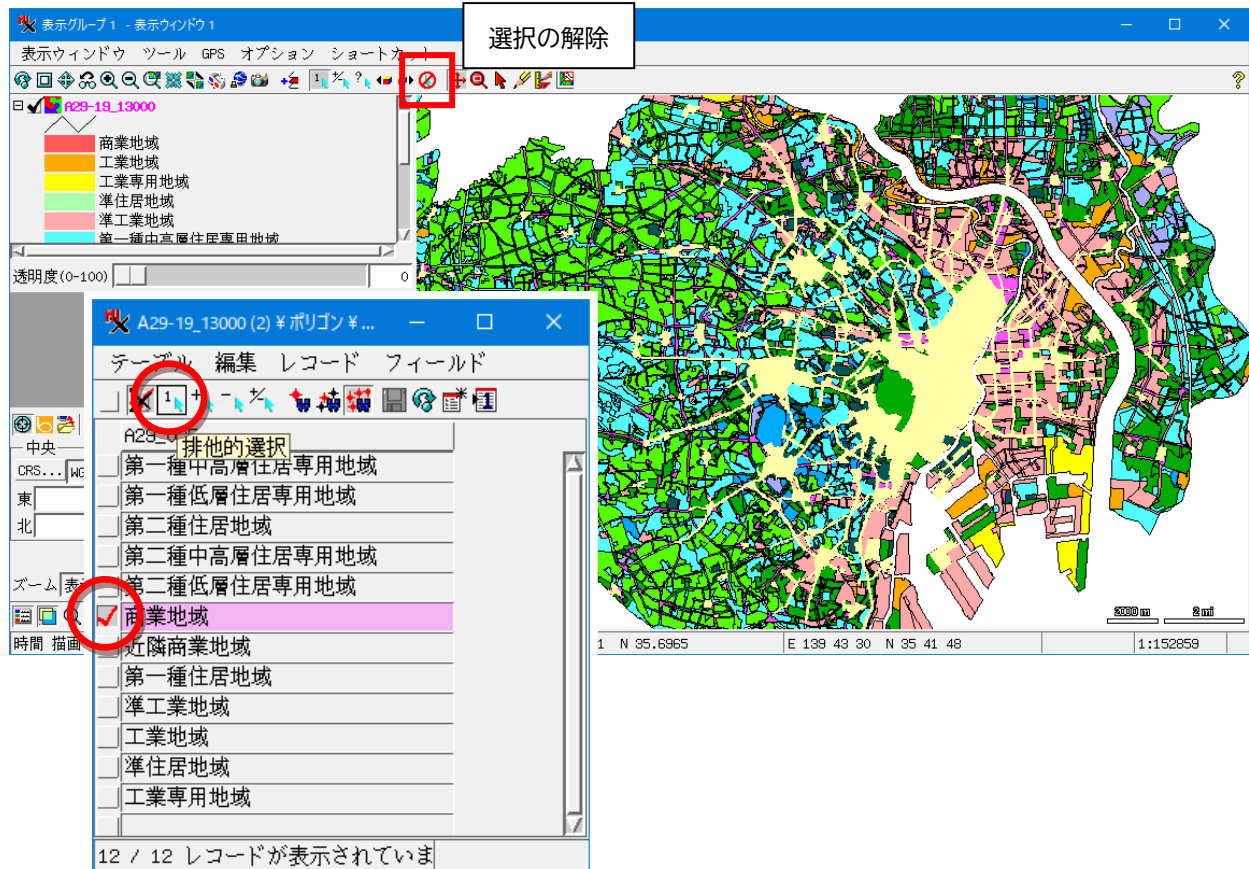
[適用]>[OK]



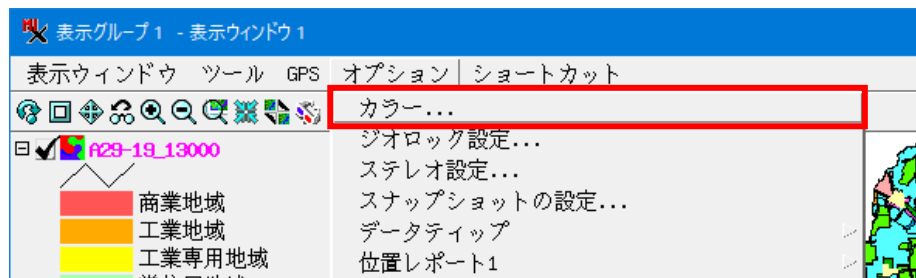
ポリゴンに色が付きました。



テーブルレコードの左の口にチェックを入れて、[排他的選択]をクリックすると、その属性を持つポリゴンが選択されハイライトします。



ハイライト色の変更は、表示ウィンドウの[オプション]>[カラー]から行います。



「選択要素」の色を選び、[OK]

